

三菱重工は長射程ミサイルを作るな！

防衛省は配備するな！行動

八木巖

高市首相は11月7日の衆院予算委員会で台湾有事に関して「戦艦を使い、武力の行使も伴うものであれば、どう考えても存立危機事態になりうる」と発言しました。安倍元首相も「台湾有事は日本有事」と発言したことがあります（首相を辞めてからの発言でした）。高市発言には当然中国外務省報道官からも「ただちに撤回しなければならない。さもなければ日本はすべての責任を負うことになる」との強い発言がありました。そもそも台湾問題は国際的にも日本の立場上（日中共同声明の立場）も中国の国内問題。中国総領事の「かってにつっこんできたその汚い首…」発言は内政干渉を意味すると思われる。少し表現が激しいが…。台湾の民衆も戦争は望んでいない。

高市首相は発言を撤回しないと言い、今後はこうした発言を慎むとしましたが、確信犯的としか思えない。不安定な安全保障環境はあなたがつくっているのでは？高市発言の裏には日米によるリゾリュートドラゴン25、自衛隊統合演習（実動演習）など立て続けの中国を想定した大規模な軍事演習があり、殺傷武器の輸出、長射程ミサイルの配備などがあります。日本はいまや準戦時体制です。

今年の2月に沖縄、西日本ネットがつくれられ各地の住民運動がつながりつつあります。不戦ネットも6月の防衛省交渉に参加し、10月に正式に参加しました。10月19日には京都の祝園で弾薬庫増設反対集会に2700人が集まり、11月9日には熊本の健軍駐屯地で長射程ミサイル配備反対の集会がおこなわれ1200人が参加しました。

こと長射程ミサイル配備となればその起点はミサイル生産工場にあります。三菱小牧北工場にあります。戦争準備はここから始まっています。

私たちは6月より月1回の街宣行動を三菱小牧北工場前と名古屋栄で続けています。兵器生産企業特にミサイル生産工場は「敵」に狙われる可能性が高いこと、長射程ミサイル配備は東アジアの「安全保障環境」を悪化させること、工場の存在そのものが爆発などの危険性をもち地域の安全を損なうことなどを訴えていますがなんにしてもまだ運動が小さ

い！ 皆さん街頭行動に参加してください！ 愛知の地域で横につながることが必要ですが、どこの団体も課題山積で大変です。3月の始めに集会を開く計画を考えています。



三菱小牧北工場前

防衛省の配備計画（しんぶん赤旗 9月5日）による

（1）12式地対艦誘導弾能力向上型については△地上から発射する「地発型」を25年度から陸上自衛隊健軍駐屯地（熊本県）のミサイル連隊に、27年度からは陸自富士駐屯地（静岡県）の特科教導隊（教育・研究部隊）に配備△艦船から発射する「艦発型」は海上自衛隊横須賀基地（神奈川県）を母港にする護衛艦「てるづき」で、航空機から発射する「空発型」は航空自衛隊百里基地（茨城県）に配備予定のF2戦闘機能能力向上型で、いずれも27年度から運用します。

（2）島しょ防衛用高速滑空弾は25年度に富士駐屯地の特科教導隊に配備し、26年度には陸自の上富良野駐屯地（北海道）とえびの駐屯地（宮崎県）に運用部隊を新たに編成するとしています。

（3）極超音速誘導弾については、別の防衛省資料によると、場所は明らかにしていないものの29年度に配備する予定です。

